

## 成長はプロセスにこそある

校長 小林 繁

天候に恵まれた9月28日(土)に令和元年度「ふれあい運動会」を開催いたしました。当日は、大変暑い中、ご来賓の皆様、地域・保護者の皆様にとくさんの拍手や応援をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。また、準備や片付けにPTA役員やおやじの会をはじめ、多くの保護者の皆様にお手伝いいただきました。当日だけでなく、運動会に至るまでの皆様のご支援があったからこそ、子供たちは、力を存分に発揮することができました。誠にありがとうございます。

今年の運動会のスローガンは、「全力・笑顔・協力～最高に熱くなれ!～」でした。この言葉に込めた思いが、全校に広がっていく印象深い子供たちの姿がありました。

一つ目は、運動会の練習が本格的に始まる直前の全校朝会でのことです。計画委員会の子供たちが、今年のスローガンをどんな思いで決めたのか、どんな運動会を創り上げていこうとしているのかを全校に呼びかけていました。

二つ目は、全校練習の応援合戦です。応援団の気持ちの入ったコールに、全員の気持ちが高まり、一人一人の声が次第に力強くなっていきました。とくに、組別のコールや応援歌「ゴー・ゴー・ゴー」では、互いの組の声の大きさに負けまいと競い合うように熱が入っていきました。

三つ目は、各演目に向けた練習における、子供たちの真剣な表情です。うまくできたという喜びも、うまくできなかったという悔しさも、真剣に取り組むほど大きくなります。幼稚園、低学年、中学年、高学年、つくし学級、全ての子供たちが練習後の振り返りで、「自分たちは、もっとできる!」というあきらめない気持ちを表情に表していました。

当日の子供たちは、ご参会の皆様にご覧いただいたとおり、「全力・笑顔・協力」を体現できていたのではないかと思います。

運動会の子供たちの輝きと成長は、そこに至るプロセスの中にこそ多くがあると考えています。なかよし班の練習で上の学年の児童が下級生をリードする姿。表現や団体競技、なかよし班の演目で学年や組を越えて気持ちを一つにして取り組む姿。応援団や各係といった自分のポジションで全力を尽くし、最高の運動会にしていこうと率先して動く姿。様々な場面で、子供たちの輝き姿がたくさんありました。

そうはいつでも、運動会当日の勝敗、演技の出来栄えについて悔しい思いをした子供もいたことでしょう。その悔しさも、次の取組へのエネルギーに変えていきたい。だからこそ、当日に至るまでに重ねてきた取組姿勢を振り返り、自分の成長に気付かせていくことを大切にしていきたいと思います。

さて、新しい学年、学級になって半年が経ち、前期の終わりを迎えます。学級担任から渡される「あゆみ」には、この半年のお子様の日頃の努力と成長、そして今後への期待が書かれています。お子様と共にご覧いただき、励ましの言葉をかけるためにご活用ください。

秋季休業日と連休を挟み、15日(火)から後期が始まります。過ごしやすい季節となり、学習に、運動に力を発揮しやすい時期となります。行事をとおして、学級や学年としてのまとまりを一層高めていくことも目指してまいります。子供たちの更なる成長を楽しみに、教職員一同、力を合わせて教育活動を充実させてまいります。ご協力のほどよろしく願いいたします。

11月8日(金) 3・4校時は  
タブレットの日です。ぜひご参観ください。